

建設業経営実務セミナー

どんぶり勘定からの脱却



—ゆとりある企業づくりをサポートする—

株式会社**建設ドットウェブ**

SCC

Studies of Cost Control

一般社団法人 原価管理研究会

原価管理研究会 ご紹介

組織名	一般社団法人原価管理研究会 (略称 SCC:Studies of Cost Control)
住所	〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町36番2号 Daiwaリバーゲート北ウイング16階
代表理事	三國 浩明
設立	2019年8月8日
事業目的	全国の税理士、中小企業診断士など士業や金融機関などと共に 中小企業経営に関する調査・研究などを推進し、 中小企業の経営基盤強化を支援いたします。

当セミナーでは、建設業独自の経営課題と解決方法をご紹介します。

どんぶり勘定からの脱却 — 月次決算を簡単に行う方法 —

1. どんぶり勘定からの脱却

- ① どんぶり勘定への要因
- ② 現金主義と発生主義
- ③ 「どっと原価NEO」を利用した月次決算への自動化

2. まとめ

ーIT活用で“脱どんぶり勘定建設会社”へー

- ① 建設会社が目指すべき経営管理サイクル
- ② ITによる経営改善へのポイントと流れ

どんぶり勘定の要因

1. 扱うお金の単位が大きい事で大雑把になりがち
2. 入金と支払いのタイミングがずれるため損益の確定が大きくなる
3. 立替金などの相殺があるため支払処理が複雑
4. 短納期の工事もあれば長期な工事もあり



① 複雑で面倒だから決算で儲けが分かれば良いと考えてしまう



② 会計事務所に丸投げで仕方がないと考えてしまう



儲けが分かりづらい経営管理に

建設業会計が使う2つの科目

**多くの中小建設会社では
決算のタイミングでしか
「未成工事支出金」と「未成工事受入金」を使わない**



決算にならないと利益が掴めていない会社が非常に多い



- 決算になってから赤字になってしまった
- 決算になってから儲かってしまった = 節税対策できない
- 税務調査で「未成工事支出金」の計上漏れの指摘
= 修正申告



「決算でしか利益が掴めない」= 利益の損出

現金主義の会計処理（例）

工事名	受注月	受注 (売上)	工期	原価	完成	前受金	入金
A工事	4月	1,000,000	15日	800,000	4月末	なし	5月末100%
B工事	//	4,000,000	40日	2,800,000	5月末	20%	6月末80%
C工事	//	8,000,000	90日	6,400,000	6月末	30%	7月末70%

月	工事	摘要	入金	出金	損益
4月	B工事	前受金20%入金	800,000	0	0
	C工事	前受金30%入金	2,400,000	0	0
		【4月収支】	3,200,000	0	3,200,000
5月	A工事	工事代金100%入金	1,000,000		
	A工事	材料費他支払		800,000	
	B工事	//		1,900,000	
	C工事	//		3,000,000	
		【5月収支】	1,000,000	5,700,000	-4,700,000
6月	B工事	工事代金残額入金	3,200,000		
	B工事	材料費他支払		900,000	
	C工事	//		2,000,000	
		【6月収支】	3,200,000	2,900,000	300,000
7月	C工事	工事代金残額入金	5,600,000		
	C工事	材料費他支払		1,400,000	
		【7月収支】	5,600,000	1,400,000	4,200,000

発生主義の会計処理（例）

工事名	受注 (売上)	工期	原価	完成	前受金	入金
A工事	1,000,000	15日	800,000	4月末	なし	5月末100%
B工事	4,000,000	40日	2,800,000	5月末	20%	6月末80%
C工事	8,000,000	90日	6,400,000	6月末	30%	7月末70%

月	工事	摘要	入金	出金	損益
4月	(未) B工事	前受金20%入金	(800,000)	0	0
	(未) C工事	前受金30%入金	(2,400,000)	0	0
		【4月収支】			0
5月	(未) A工事	工事代金100%入金	(1,000,000)		0
	【完】 A工事	完成工事高計上	1,000,000		1,000,000
	(未) A工事	材料費他支払		(800,000)	0
	【完】 A工事	材料費他費用計上		800,000	-800,000
	(未) B工事	材料費他支払		(1,900,000)	0
	(未) C工事	//		(3,000,000)	0
		【5月収支】			200,000
6月	(未) B工事	工事代金残額入金	(3,200,000)		0
	【完】 B工事	完成工事高計上	4,000,000		4,000,000
	(未) B工事	材料費他支払		(900,000)	0
	【完】 B工事	材料費他費用計上		2,800,000	-2,800,000
	(未) C工事	材料費他支払		(2,000,000)	0
		【6月収支】			1,200,000
7月	(未) C工事	工事代金残額入金	(5,600,000)		0
	【完】 C工事	完成工事高計上	8,000,000		8,000,000
	(未) C工事	材料費他支払		(1,400,000)	0
	【完】 C工事	材料費他費用計上		6,400,000	-6,400,000
		【7月収支】			1,600,000

現金／発生主義の仕訳伝票

6月 1日	工事受注	100万円
6月30日	材料費仕入（請求）	80万円
〃	工事前受金	100万円
7月31日	材料費支払	80万円
8月31日	工事完成	100万円

【発生主義】

金額単位：千円

日付	取引	借方	貸方	金額
6月 6月30日	材料仕入時	未成材料費	工事未払金	800
7月 7月31日	材料費支払時	工事未払金	預金	800
8月 8月31日	工事完成時	材料費	未成材料費	800

取引	借方	貸方	金額	単月損益
入金時	預金	未成工事受入金	1,000	0
—	—	—	—	0
工事完成時	未成工事受入金	完成工事高	1,000	200

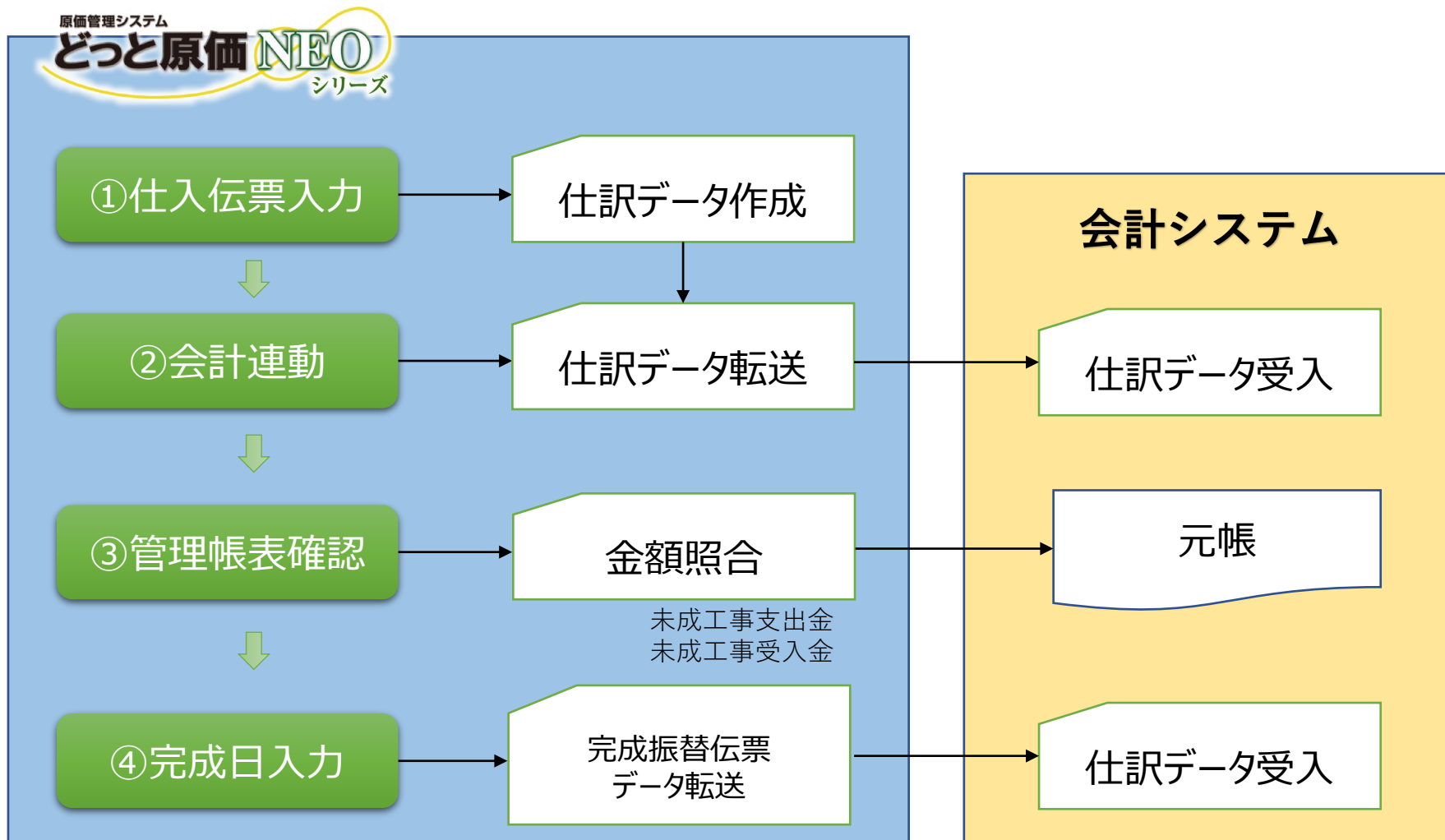
【現金主義】

日付	取引	借方	貸方	金額
6月 6月30日	材料仕入時	—	—	—
7月 7月31日	材料費支払時	材料費	預金	800
8月 8月31日	工事完成時	—	—	—

取引	借方	貸方	金額	単月損益
入金時	預金	完成工事高	1,000	1,000
—	—	—	—	0
工事完成時	—	—	—	-800

「どっと原価NEO」を利用した 月次決算への自動化

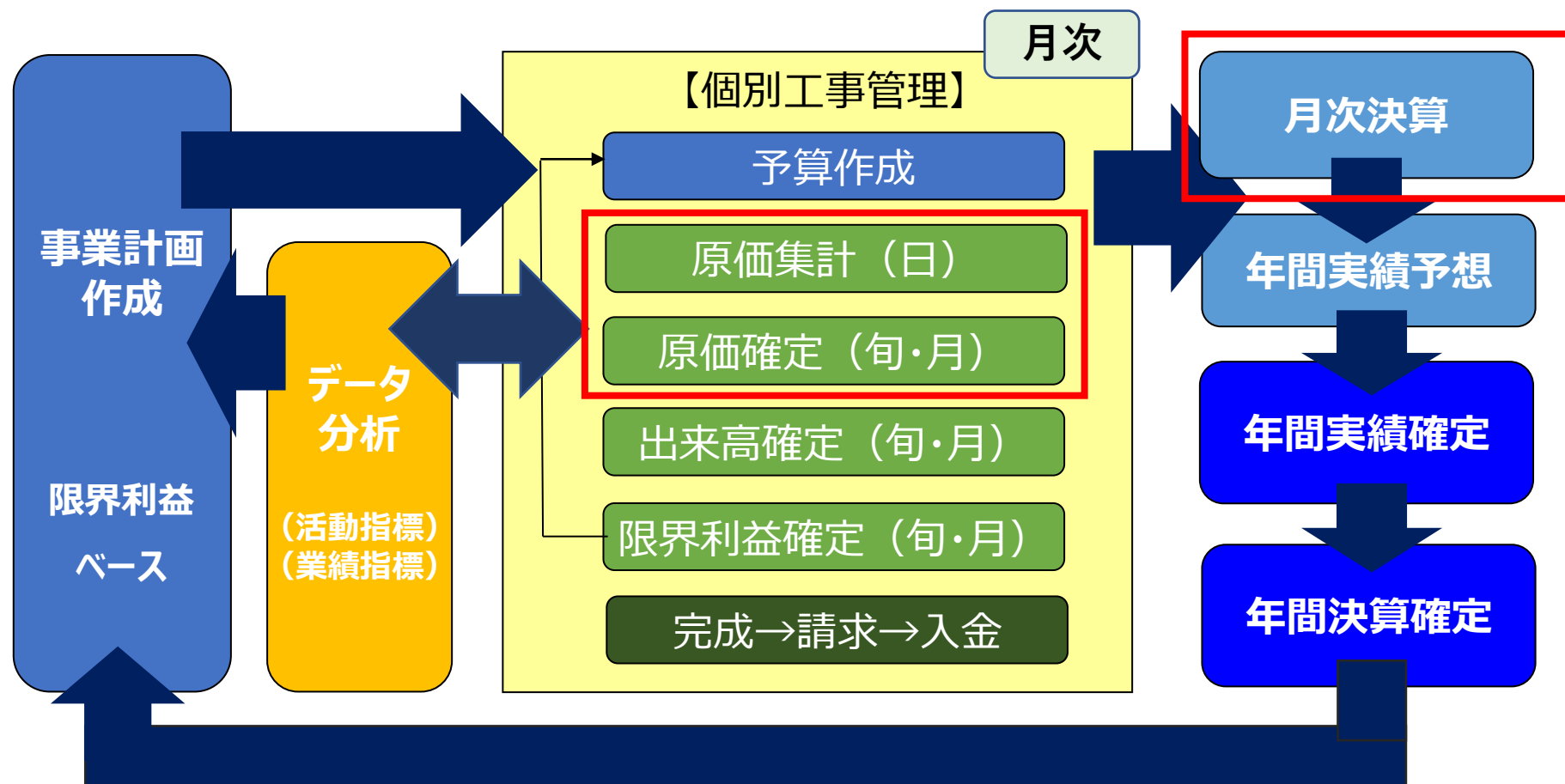
原価管理システム「どっと原価NEO」を利用した処理の流れ（概要）



まとめ

ーIT活用で“脱どんぶり勘定建設会社”へー

建設会社が目指すべき経営管理サイクルモデル



今回のセミナーで解説

建設会社における ITによる経営改善への進め方のポイント

STEP1 (第1回)

1 - 1 工事別の損益管理（仕入と売上を納品・完成基準で）



原価管理

- ・ 原価は、支払時点ではなく仕入時（納品伝票）・日報・請求書を登録し早期に把握する。
- ・ 売上は、入金時点ではなく完成時点で売上登録し早期に把握する。
- ・ 工事別の利益を正確に把握し問題があれば検討する。

1 - 2 発生主義による月次決算処理



会計連動

- ・ 現金主義ではなく発生主義で仕訳伝票を自動作成し会計ソフトで処理を行う。
- ・ 月次決算を行い損益に基づき課題があれば手を打つ。
- ・ 幹部・または社員と損益や課題共有を行う。
- ・ 年度決算前には節税対策や経営事項審査対策などを必要に応じて検討する。

建設会社における ITによる経営改善への進め方のポイント

STEP2 (第2回)

2 - 1 工事別の未請求・未回収管理

請求管理

- ・ 工事完成予定日を登録し完成後の請求漏れををなくす。
- ・ 工事完成後に速やかに売上処理を行い請求書を作成する。
- ・ 入金予定日を登録し入金予定管理を行う。
- ・ 未収金先を速やかに抽出し担当者に理由の確認を行う。（お金への執着）

2 - 2 業務の標準化・効率化（二度手間防止など）

全 般

- ・ 現在行っている作業時間の大きい業務をシステム化する。
- ・ 現時点の行っている事務作業の目的と必要性を棚卸しする。（業務の見直し）
- ・ パッケージソフトウェアに自社の業務を合わせ事で標準化を図る。

次回
第2回目のセミナー
でお話しします。

建設会社における ITによる経営改善への進め方のポイント

STEP1

(第1回)

1 - 1 工事別の損益管理（仕入と売上を納品・完成基準で）



原価管理

1 - 2 発生主義による月次決算処理



会計連動

STEP2

(第2回)

2 - 1 工事別の未請求・未回収管理

請求管理

2 - 2 業務の標準化・効率化（二度手間防止など）

全 般

STEP3

(第3回)

3 - 1 工事別の実行予算作成と実績管理

実行予算管理

3 - 2 工事進捗管理と予算消化の管理

出来高管理

3 - 3 工事別の実際原価と予想原価による見込収支管理

収支見込管理

STEP4

(第4回)

4 - 1 会社全体の事業計画と実績管理

限界利益管理

4 - 2 会社全体の事業計画の予想収支管理

限界利益管理

STEP5

(第5回)

5 - 1 データを分析による事業計画・事業戦略への反映

データ分析

Point ! 背伸びをせずにできる事から着実に実行する。

建設業経営実務セミナー

どんぶり勘定からの脱却

ご清聴ありがとうございました。



一般社団法人 原価管理研究会